

株式会社黒壁

株式会社黒壁

1 法人基本情報（令和7年4月1日現在）

所在地	〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町12番38号				
代表者	代表取締役社長 田中猛士		設立年月日 昭和63年4月11日		
電話番号	0749-65-2330		FAX番号	0749-65-2333	
ホームページアドレス	https://www.kurokabe.co.jp				
設立目的	古い建造物の保存運動に端をなし、長浜の「歴史性」、「国際性」及び「文化芸術性」を高めるガラス工芸を中核とした中心市街地の活性化を目的とする。				
資本金	45,000千円	市出資額	15,833千円	市出資割合	35.2%
所管課	産業観光部 商工振興課				

2 役職員の状況（令和7年3月31日現在）（人）

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	7	2	9	0	0	2	7
	計	7	2	9	0	0	2	7
職員	正規職員			24	24	0	0	0
	臨時職員			0	0	0	0	0
	パート職員等			38	38	0	0	0
	計			62	62	0	0	0

3 主な事業内容（令和6年度）

- ①国内ガラス工芸品の展示販売
- ②海外アートガラス輸入、蒐集、展示販売
- ③ガラス工房運営、オリジナルガラス制作販売
- ④食堂喫茶の運営
- ⑤ガラス文化に関する調査研究、イベントの企画運営
- ⑥まちづくり文化に関する情報、資料収集、提供
- ⑦国際交流に関する業務
- ⑧旅行業
- ⑨酒類販売
- ⑩E C 事業

4 財務状況

(1) 貸借対照表

（千円）

項目	令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在	令和7年3月31日現在
資産	913,449	904,719	881,143
流動資産	200,223	208,630	137,702
固定資産	713,226	696,089	743,441
繰延資産	0	0	0
負債	883,755	860,547	831,688
(うち有利子負債)	(768,569)	(768,569)	(768,569)
流動負債	153,595	132,127	93,629
固定負債	730,160	728,420	738,059
純資産	29,694	44,172	49,454
資本金	540,000	540,000	45,000
利益剰余金	▲ 510,306	▲ 495,828	4,454

(2) 損益計算書

(千円)

項目	令和4年度 (R4. 4. 1-R5. 3. 31)	令和5年度 (R5. 4. 1-R6. 3. 31)	令和6年度 (R6. 4. 1-R7. 3. 31)
営業収益 (売上高)	496, 217	530, 406	531, 341
営業費用	500, 147	506, 570	504, 878
売上原価	274, 632	286, 788	288, 836
販売費・一般管理費	225, 515	219, 782	216, 042
営業利益	▲ 3, 931	23, 836	26, 463
営業外収益	12, 852	5, 602	53, 446
営業外費用	12, 488	11, 994	12, 785
経常利益	▲ 3, 567	17, 444	67, 124
特別利益	5	100	0
特別損失	0	201	61, 630
税引前当期利益	▲ 3, 561	17, 343	5, 494
法人税等	545	2, 865	211
当期純利益	▲ 4, 106	14, 478	5, 283

5 市の関与の状況

(1) 公的支援 (フロー)

(千円)

項目		金額			備考 (目的、内容、算出根拠等)
		R4年度	R5年度	R6年度	
① 補助金 (助成金・交付金)	運営補助	0	0	0	
	事業補助	4, 710	0	27, 200	まちなかの新たな魅力アップコンテツ創出事業 地域一体となった観光地・観光産業補助金の再生・高付加価値化事業
② 利子補給金		0	0	0	
③ 税の減免額		0	0	0	
④ その他 (負担金)		4, 999	574	10, 179	黒曜スタジアムポケットパーク改修事業負担金 光熱水費負担金
小計		9, 709	574	37, 379	—
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0	
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用		0	0	0	
小計		0	0	0	
合計		9, 709	574	37, 379	—

(参考) 委託料	1, 317	3, 114	840	お旅駐車場前公衆便所管理業務
----------	--------	--------	-----	----------------

(2) 公的支援 (ストック)

(千円)

項目		金額			備考 (目的、内容、算出根拠等)
		R4年度	R5年度	R6年度	
① 損失補償契約に係る債務残高		0	0	0	
② 貸付金残高		0	0	0	
③ 出資金		190, 000	190, 000	15, 833	市保有株式(1, 900株)
小計		190, 000	190, 000	15, 833	—

6 地方公共団体による点検評価の結果

経営状況についての 予備的診断における評価	B	A：経営努力を行いつつ事業は継続 B：事業内容の見直し等 による積極的な経営改善が必要 C：深刻な経営難の状況にあ り経営の観点からは事業の存廃も含めた検討が必要
コメント	営業収支の改善を図り、2期連続で黒字決算となった。今後は、金融機関 や産業会等との連携を更に強化し、ガバナンス改善、財務改善も含めた 経営改革を推進する必要がある。	

7 その他の特記事項

安定的な企業経営のため、令和6年度に減資を行い、会社規模に見合った資本金に修正した。※減資前：5億4, 000万円 減資後：4, 500万円
--

8 事業計画（令和7年度）

パーパス（企業の存在意義）

ガラス事業を通して、地域社会の持続可能な発展に寄与するまちづくり企業

ビジョン（目指す先）

日本初の良質なレトロおしゃれガラスブランドになる

ミッション（すべきこと）

文化的深みがある場所・体験・製品を、おしゃれに親しみやすくする「上質な文化体験・文化製品市場の創造」

バリュー（お客様への提供価値）

「心の彩り」－ Good Glass, Good Life －

「お客様の欲しいがすべて詰まった良質なガラス商品をちょうどよい価格で提供する」ことでお客様の心をときめかせる

経営基本方針

- 多数の収益施策を迅速に遂行した結果、収益性は大きく改善が進んだ。
- 今後黒壁を中長期的に維持・発展させていく上では、組織の抜本的な立て直し（経理・総務部門の機能強化、店舗・工房の人材育成体制の整備）、中長期的な施策の実行（オリジナルガラスの開発、新たな収益源の開拓等）が必要となる。したがってこの1年間は短期的な収益の追及のみならず、中長期的な会社の基盤を整備し、持続可能な経営体質へと改革を進める。

経営戦略

- 黒壁の収益改善の継続実施
- 再生計画の策定・成立
- ガバナンス体制の構築
- 経理・総務部門の立て直し
- 店舗・ガラス工房の人材育成体制の整備
- 黒壁オリジナルガラス素材開発

令和7年度 株式会社黒壁 数値計画（単位：千円）

収入区分	内容	見込額
ガラス館事業	ガラス製品、オルゴール売上等	192,000
エクリン事業	ガラス製品売上	52,000
AMISU事業	物産品販売	138,000
カフェ事業	飲食販売	56,000
体験事業	ガラス体験等	68,000
食品製造事業	食品製造	10,000
その他	駐車場等	24,000
純売上高		540,000
売上総利益		250,000

支出区分	内容	見込額
販売費及び一般管理費	各事業費用等	220,000
合計		220,000

収支差額 30,000 千円